

注意1) マクロプログラムを変更後は常に変更後の桁数で出力されます。

(変更前の状態に戻せば、2桁に戻ります。元のファイルは異なるファイル名で保存しておくことをお勧めします)

注意2) MS ケミステーション再インストール後は、桁数は2桁に戻ります。再度、マクロプログラムの変更が必要です。

①拡張データ解析画面の、定量→標準レポート使用のCheckを外してください。

C:\%msdchem%\msmacrosにある「epa. mac」の以下の部分を変更します。

「epa. mac」の変更。

書き込まれているプログラム中の「」内の文字列を探してください。

「amtfmt\$="4#. 2#」 【ターゲット化合物の濃度の小数点以下を変更】

「format\$="3#) 25% "rtdigitfmt\$+" 4% #####2% ###. ## 5% 5%" 【内部標準の濃度の小数点以下を変更】

(「amtfmt\$="4#. 2#」または「2% ###」で検索すると便利です)

下記2カ所と1カ所にあります。

Name Report\_target の項目

name getresult\_X ! Get results and apply multiplier and dilution factors の項目

amtfmt\$="4#. 2#"の部分で2が桁数になります。2を3に変更すれば3桁になります。

Name EPA\_SUMMARY !This does the summary type report の項目

2% ###. ## 5% の部分にて .## の#の数で桁を決めます